

＼最北村につき！

～地域おこし協力隊の挑戦～

2021年

皆様にとって素晴らしい年になりますように

Instagram さるふつギャラリー

photo by Tomoya

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。協力隊の春日井さつきです。昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける子どもたちや今年度で閉所する浜鬼志別保育所の子どもたちのために、写真や動画を通して保育所の様子を保護者の方へ伝えるお手伝いをさせて頂きました。私たちが毎日が挑戦で、大きなプレッシャーもありましたが、それでも、大好きな子どもたちに囲まれ、楽しい時間を過ごすことができました。今年も色々なことに挑戦し、皆様にくさんの笑顔をお届けしたら嬉しいです。



▲浜鬼志別保育所での撮影の様子。延べ1.5万枚以上を撮影し、インターネットで写真を閲覧・購入できる仕組みを導入。

イチゴの栽培に向けて ～待望の収穫開始～

葉物野菜の定植から約2カ月。12月中旬に待望の初収穫を迎えました。今回がハウス完成後、初の栽培でしたので、これまで様々な苦労がありました。

9月末にハウスが完成。中にはイチゴ栽培用のベットなどの設備がきれいに整えられていました。しかし、先に葉物野菜の栽培をするため、これを一度すべて撤去。身を粉にして動き回り、たった1週間であんなにか畑に作り変えました。

それから毎日欠かさずハウスに行き、作物の病気や害虫に対処しながら、成長を見守っていました。

【あらすじ】旧芦野小学校グラウンド跡地に新設されたビニールハウスで、葉物野菜やイチゴの栽培を行っています。人の手と最先端技術による新しい施設園芸に挑戦しています。

ここまで本当に苦労が山積みでしたので、今、立派な野菜が並んでいる畑を見ると感慨深いものがあります。

これからの季節、チンゲン菜やミニ白菜は厳しい寒さに耐えるため、葉に糖分を蓄えて甘くなります。そして、寒い季節の定番である鍋やクリームシチューなどをさらにおいしくしてくれると思います。冬の猿払村で採れた新鮮な野菜が、皆様の食卓に並ぶことを楽しみにしています。
(協力隊 塚田治幸)

施設園芸の裏話ブログ
「猿払村ぐらし」で連載中

